

I 法人本部

1. 基本方針及び基本理念

1997年法人設立当初より掲げてきた、自然との共生を目指し、ものづくりひとすじの思いを土台とした法人運営を行ってきた。

～ 基本理念 ～

- ・ 私たちは、自然との共生・地球環境の保全に寄与し、資源の循環を目指します
- ・ 私たちは、自然の中に生かされていることを自覚し、地域とともに、共生社会の発展に努めます
- ・ 私たちは、利用者さんの自己実現のために、一人ひとりにしっかり寄り添い、声なき声をくみ取ります
- ・ 私たちは、職員一人ひとりが法人の一員であることを自覚し、社会人として常に研鑽を積んでいきます

———— 平成28年2月25日制定 ————

2. 平成30年度重点取組み事項

(1) 第一次中期経営計画の推進（計画期間：平成29年度～令和3年度）

1) 就労継続支援事業所みなみ新築工事

<施設概要>

施設名称：就労継続支援 B 型事業所 みなみ
住 所：浜松市西区雄踏町山崎 5 5 2 6 - 1
構 造：鉄骨造 2 階建
敷地面積：1754.66 m²
建築面積：527.66 m² 延床面積：559.19 m²
建築工事費：223,354 千円
設計監理：(有)ZONE 建築設計事務所
建築工事：中村建設株式会社

<建設経過>

平成30年 5月 第1回資格委員会
" 7月 入札 建設業者との工事契約締結 地鎮祭
" 8月 工事着工
平成31年 3月 法人による完成検査 建物引き渡し 内覧会 落成式

2) 共同生活援助施設やしま入札及び契約

<経過>

平成31年 2月 第5回理事会 入札参加資格について (6社)
3月 入札 建築工事：中村建設株式会社に落札
建設業者との工事契約締結

(2) 人材育成（中期経営計画研修）

次代を担う人材育成を図るため、平成29年度に続き、主任等を対象に、外部講師による研修を実施した。

平成30年 1 1月 第1回 前年度研修の振り返りと作成予算と実績の比較・検証
" 1 2月 第2回 来年度予算・行動計画の作成
平成31年 2月 第3回 来年度予算・行動計画作成&中期経営計画作成に向けて

3. 評議員会・理事会等

(1) 評議員会 (1回)

開催月日	出席者数	審議事項
平成30年6月28日	評議員 7名 理事 2名 監事 2名	<ul style="list-style-type: none"> 決議事項 平成29年度計算書類（貸借対照表及び収支計算書）並びに財産目録の承認について 報告事項 平成29年度事業報告

(2) 理事会 (6回)

開催月日	出席者数	審議事項
平成30年5月16日 第1回	理事6名 監事2名	<ul style="list-style-type: none"> 「みなみ」建築工事入札説明書 入札参加資格設定調書 入札執行公告 入札参加資格確認通知書
平成30年5月31日 第2回	理事6名 監事1名	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年度事業報告 平成29年度貸借対照表及び収支計算書並びに財産目録 経理規程の改正 法令遵守規程の改正 定時評議員の招集 平成30年度第一次補正予算
平成30年7月30日 第3回	理事5名 監事2名	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年度第二次補正予算
平成30年12月6日 第4回	理事6名 監事1名	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年度第三次補正予算 評議員・選任解任委員会運営規則の改正 育児・介護休業等に関する規程の改正
平成31年2月26日 第5回	理事5名 監事2名	<ul style="list-style-type: none"> 「やしま」建築工事入札説明書及び指名通知書、入札参加連絡書 入札参加資格設定調書
平成31年3月27日 第6回	理事6名 監事2名	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年度第四次補正予算 積立金目的外使用及びその取崩しについて 平成31年度事業計画 平成31年度当初予算 グループホームやしま入札結果 評議員選任について 定年退職後再雇用職員再雇用規程 みなみ運営規定の改正 評議員選任・解任委員会の招集について

(3) 監事監査（業務執行状況、及び財産の状況を監査）

開催月日	種別	監査項目
平成30年5月16日	決算監査	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年度事業報告書（障害福祉サービス事業） 平成29年度計算書類及びその附属明細書並びに財産目録
平成30年11月12日	定期監査	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年度中間(平成30年4月～9月)業務監査及び会計監査

(4) 月次監査指導（会計事務所による会計データ監査、経営助言等）

開催月日	内 容
毎月1回	・会計データの監査、及び月次試算表作成指導

(5) 障害福祉サービス事業所等の実施指導

事業所	開催日時	指 導 項 目
ひくまの	平成30年11月30日	非常災害(風水害)に関する計画作成、従業者への周知をすること。
まつかさ	平成30年11月15日	指摘事項なし
あかね	平成30年10月5日	指摘事項なし

4. 会議・研修等

(1) 内部会議

会 議	実施（曜）日	参 加 者
理事長定例会議	毎月1回	理事長、業務執行理事、事務長
運営会議	月1回	園長、事務長
企画会議	第2土曜日	園長、事務長、主任
工賃評定会議	半年に1回・適宜	園長、サービス管理責任者、主任
職員会議	毎朝(15分)、毎夕(40分)	全 員
支援会議	半年に1回・適宜	全 員

(2) 内部研修

研 修 名	内 容
施設長・主任者研修	・中期経営計画作成研修、前年度研修の振り返り（作成予算と実績の検証）、来年度予算・行動計画作成を3回にわたって実施。
新任職員研修	・法人の基本方針や規程等の説明
自己啓発研修	・業務の振り返りチェックシートを使用して自己啓発につとめた。
内部研修会	・虐待防止、権利擁護について ・防犯対策について
年度末職員研修	・平成31年度事業計画・会計予算、平成30年度授産事業のまとめ、研修報告と意見交換。
自主研修	・事業所毎に研修計画を立て、年間6回程実施。 支援への共通認識を深め、相談しやすい職場づくりも兼ねた。

(3) 外部会議

・ 管理部門研修

研修日	研 修 名	場 所	主 催	参加者
平成30年 4月20日	監事監査研修会	静岡市	静岡県社会福祉協議会	監事2、 施設長1
6月6日	社会福祉法人の為の経営実務講座 (労働基準法入門)	東京都	(一社)日本経営協会	事務長1
11月5日	社会福祉法人・施設職員税務実務講座(消費税)	静岡市	(福)静岡県社会福祉協議会	施設長1
平成31年 1月31日	消費税増税対応講座	静岡市	(福)静岡県社会福祉協議会	事務長1

・キャリアアップ研修

研修日	研修名	場所	主催	参加者
平成30年				
5月9日	福祉職員キャリアパス対応生涯研修 (24日、25日)	浜松市	(福)静岡県社会福祉協議会	サービス管理 責任者1
6月13日	社会福祉法人簿記入門講座	静岡市	(福)静岡県社会福祉協議会	生活支援員1
6月19日	社会福祉法人施設事務職員経理基礎講座(22日)	静岡市	(福)静岡県社会福祉協議会	生活支援員1
6月23日	相談支援従事者初任者研修 (24日、7月10日、11日、9月19日)	静岡市 ・浜松市	静岡県	生活支援員1
8月13日	障害者虐待防止・権利擁護研修 虐待防止マネージャー/従事者コース(14日、24日、9月4日)	静岡市	静岡県健康福祉部障害者支援局	サービス管理 責任者1 施設長1
〃	〃	〃	〃	
9月13日	設置者・管理者コース(14日、24日、20日)	静岡市	静岡県知的障害者福祉協会	職業指導員1
9月21日	障害者スポーツ講座(10月25日、11月10日)	静岡市	NPO法人オールしずおかバーストコミュニティ	施設長1、 生活支援員1
〃	しずおか農産加工授産製品ブランド化推進事業 授産製品相談会 事業所運営力・工賃向上研修	静岡市	〃	職業指導員1
10月2日	通所施設連絡会職員研修Ⅰ	藤枝市	静岡県通所施設連絡会	生活支援員1
10月5日	第21回磐田学園強度行動障害研修会	磐田市	静岡県	生活支援員1
10月12日	「生活困窮者自立支援事業の現場から」報告会	浜松市	浜松市生活自立相談支援センター	生活支援員1
10月30日	静岡県サービス管理責任者等研修 (31日、11月8日、9日)	静岡市	静岡県	サービス管理 責任者1
11月1日	静岡県知的障害者福祉協会 生産活動・就労支援部会研究集会(2日)	浜松市	静岡県知的障害者福祉協会	施設長2、 サービス管理 責任者1、 職業指導員4、 生活支援員4
11月16日	静岡県知的障害者福祉協会 日中活動支援部会研究集会(17日)	御殿場市	静岡県知的障害者福祉協会	サービス管理 責任者2
11月28日	農福連携支援事業集合研修	静岡市	NPO法人オールしずおかバーストコミュニティ	生活支援員1
12月7日	静岡県知的障害者福祉協会日中活動支 援スタッフ会議	浜松市	静岡県知的障害者福祉協会	サービス管理 責任者1
12月10日	浜松市障害者虐待防止研修会	浜松市	浜松市	職業指導員1
平成31年				
1月16日	スマホで撮影、基本のテクニック	静岡市	静岡県障害者文化芸術活動支援センター「みらい」	生活支援員1
1月24日	施設長等研修会(25日)	沼津市	静岡県知的障害者福祉協会	施設長3
1月31日	工賃向上研修	静岡市	(一社)静岡県社会就労センター協議会	生活支援員1
2月5日	アート活動の為の著作権入門	静岡市	静岡県障害者文化芸術活動支援センター「みらい」	生活支援員1
2月6日	浜松市高齢者・障害者虐待防止講演会	浜松市	浜松市	生活支援員1
2月8日	しずおか授産製品ブランド化事業 「販売促進研修」(19日、3月20日)	静岡市	NPO法人オールしずおかバーストコミュニティ	生活支援員1
2月14日	施設職員研修会 (強度行動障害への理解と支援について)	浜松市	浜松市児童・障害部会	職業指導員1、 サービス管理 責任者2
3月6日	農福連携事業埼玉視察(7日)	埼玉県・栃木県	NPO法人オールしずおかバーストコミュニティ	職業指導員1
3月7日	強度行動障害研修会	静岡市	静岡県知的障害者福祉協会	看護師1

5. 施設運営

(1) 施設の概要

(平成31年3月31日現在)

名称	ひくまの		みなみ	まつかさ	やしま	あかね	
種類	生活介護	就労継続支援B型	就労継続支援B型	就労継続支援B型	共同生活援助	共同生活援助	短期入所
利用定員	15	40	20	20	4	7	1
在籍数	17	49	23	22	4	7	—

(2) 施設整備及び主な修繕

①施設整備

(単位：千円)

事業所名	内 容	金 額
み な み	・新築移転施設整備（建築工事費、設計監理料）	2 2 3, 3 5 4 千円

②主な修繕

(単位：千円)

事業所名	内 容	金 額
ひくまの	・エアコン取替工事	5, 9 6 4 千円

6. 職員構成

(平成31年3月31日現在)

施設等 職種	多機能型事業所 「ひくまの」		就労継続支援B型 「みなみ」	就労継続支援B型 「まつかさ」	共同生活援助 「やしま」	共同生活援助 ・短期入所 「あかね」	計
	就労B	生活介護					
管 理 者	1		1	1	1(兼)	1	4
嘱 託 医		1 (1)					1 (1)
サービス管理責任者	1	1	1	1(兼)	1(兼)	1(兼)	3
職業指導員	3 (2)		1 (1)	3			7 (3)
生活支援員	5 (2)	4 (1)	3 (2)	1 (1)	3(兼) (2 兼)	3(兼) (2)	14 (6)
看 護 師		2 (1)					2 (1)
世 話 人					3 (3)	5 (5)	8 (8)
事 務 員	1 (1)						1 (1)
運 転 手	2 (2)		2 (2)				3 (3)
計	21 (10)		8 (5)	5 (1)	5 (5)	8 (7)	44 (24)

※ () 内の数字は準職員の数で再掲。

※ 産休・育休の職員は含まれていない。

7. 主な年間共通行事

実 施 日	行 事 名
平成30年 6月 4日	家族会総会
平成31年 1月 11日	『新成人を励ますつどい』実施
2月 22日	新入所者オリエンテーション
3月 25日	平成31年度入所式

Ⅱ ひくまの（多機能型事業所）

1. 施設運営

(1) 生活介護事業

日常生活に必要な食事、整容、排泄等の介護や働くこと、創作活動などの機会を日中活動の中で提供し、「スマイル」の通称のように利用者の喜びや自己実現を活動を通じて支援し、また、個別支援計画に沿い、きめ細やかな支援を提供した。

本館2階を主会場としてスマイル独自の独立した活動を意識して展開し、利用者の意思決定を大切にしながら日中活動を提供してきた。また生産活動では、スマイル独自の商品を積極的に開発し、販売等につなげてきた。

(2) 就労継続支援事業（B型）

働く場として就労の機会を提供し、利用者の働く喜びが保障され、働く力、人として生きていく力が備わるよう個別支援計画に沿い、きめ細やかな支援を提供した。

作業内容は、小規模多機能の形態を維持し、利用者の意思決定が毎日の生活や活動に充分反映されるような日中活動を展開した。

就労継続支援事業所として、新たに「働く」という視点を重要視し、工賃向上も視野に入れた支援体制を目指し、障害の特性に合わせた個別支援体制も充実させてきた。

2. 施設利用状況

(1) 生活介護（定員15名）

項 目		単位	平成30年度 実績	平成29年度 実績	平成28年度 実績
施設利用状況	開所日数	日	256	254	268
	契約者数	人	17	17	16
	延べ人数	人	3,940	3,669	3,885
	1日平均		15.39	14.4	14.5
	利用率	%	102.6	96.3	96.6

・利用者の状況（平成31年3月31日現在）

地域別	浜 松 市							磐田市	掛川市	湖西市	合 計	
	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区				男	女
	1	1	2	7	4	0	0	0	0	2	17	
年齢別	18歳 ～19歳	20歳 ～29歳	30歳 ～39歳	40歳 ～49歳	50歳 ～59歳	60歳 ～64歳	65歳 以上	性別	男	女		
	1	5	7	4	0	0	0	11	6			
障害支援 区 分 別	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1	平均支援区分	未判定				
	1	9	7	0	0	0	4.6	0				
手帳所持別	身体障害者手帳					療育手帳		精神障害者保健福祉手帳			重複 所持	手帳 なし
	1級	2級	3級	4級	5級以上	A	B	1級	2級	3級	3	0
	0	1	1	0	0	16	1	0	0	1		

(2) 【就労継続支援B型】 (定員40名)

項 目		単位	平成30年度 実績	平成29年度 実績	平成28年度 実績
施設利用状況	開所日数	日	256	254	268
	契約者数	人	49	46	46
	延べ人数	人	11,091	10,696	11,295
	1日平均	人	43.4	42.1	42.1
	利用率	%	108.3	105.3	105.3

・利用者の状況 (平成31年3月31日現在)

地域別	浜 松 市							磐田市	掛川市	湖西市	合 計	
	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区				男	女
	16	12	7	7	3	0	1	2	1	0	49	
年齢別	18歳 ～19歳	20歳 ～29歳	30歳 ～39歳	40歳 ～49歳	50歳 ～59歳	60歳 ～64歳	65歳 以上	性別	男	女		
	3	15	16	6	6	3	0		30	19		
障害支援 区分別	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1	平均支援区分	未判定				
	0	1	9	16	8	0	3.8	15				
手帳所持別	身体障害者手帳					療育手帳		精神障害者保健福祉手帳			重複 所持	手帳 なし
	1級	2級	3級	4級	5級以上	A	B	1級	2級	3級		
	1	2	0	0	1	26	22	0	0	0	1	0

3. 就労支援事業

(1) 生活介護(スマイル) : 全体

(単位 : 円)

事 業	平成30年度収入	平成29年度収入	差 額
自主作業	29,620	29,212	408
下請作業	141,282	307,261	△ 165,979
合 計	170,902	336,473	△ 165,571

①自主作業

(単位 : 円)

作業種目	平成30年度収入	平成29年度収入	差 額
果樹園芸	23,470	22,200	1,270
染織縫製	6,150	7,012	△ 862
合 計	29,620	29,212	408

(2) 就労継続支援B型 : 全体

(単位 : 円)

事 業	平成30年度収入	平成29年度収入	差 額
自主作業	3,795,106	4,253,500	△ 458,394
下請作業	5,018,836	5,667,110	△ 648,274
合 計	8,813,942	9,920,610	△ 1,106,668

①自主作業

(単位：円)

作業種目	平成30年度収入	平成29年度収入	差 額
果 樹 園 芸	1,384,279	1,646,975	△ 262,696
染 織 縫 製	260,121	581,898	△ 321,777
バ イ オ	0	52,684	△ 52,684
食 品 加 工	2,150,706	1,971,943	178,763
合 計	3,795,106	4,253,500	△ 458,394

※静岡県授産製品ブランド化事業にて、ブルーベリーコンフィチュールが内容、パッケージともに一新され、今後の販路拡大につながると考えられる。

②受託作業

(単位：円)

作業種目	平成30年度収入	平成29年度収入	差 額
施設外就労	2,445,812	5,667,110	△ 648,274
優先調達関連作業	219,240		
下 請 作 業	2,200,969		
その他販売手数料	152,815		
合 計	5,018,836	5,667,110	△ 648,274

4. 工賃実績：全体

(単位：円)

	生活介護			就労継続支援B型		
	平成30年度	平成29年度	差 額	平成30年度	平成29年度	差 額
平均	831	1,997	△ 1,166	11,125	11,213	△ 88
最高	1,269	2,498	△ 1,229	21,487	20,844	643
最低	428	1,492	△ 1,064	1,777	3,339	△ 1,562

(1) 生活介護事業：月別

(単位：円)

工 賃	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年度
総支給額	21,840	14,500	14,300	13,780	13,880	12,890	9,400	11,560	9,520	12,300	13,580	22,020	169,570	383,430
月額最高額	1,510	1,340	1,320	1,280	1,350	1,220	880	1,060	850	1,120	1,260	2,040	1,269	2,498
月額最低額	1,100	500	520	250	200	200	200	390	260	410	470	640	428	1,492
	平均工賃月額												831	1,997

※本年度は賞与、年度末手当なし。

(2) 就労継続支援B型事業：月別

(単位：円)

工 賃	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年度
総支給額	474,900	472,870	335,150	451,500	579,770	529,810	529,780	599,770	739,780	519,850	519,800	618,202	6,371,182	6,212,150
月額最高額	19,390	19,340	13,370	17,260	24,570	20,130	22,020	26,030	21,360	24,400	22,510	27,470	21,487	20,844
月額最低額	1,650	1,790	1,320	1,750	1,000	1,000	2,230	2,800	3,160	1,000	1,000	2,632	1,777	3,339
	平均工賃月額												11,125	11,213

※平成30年12月は賞与（一律5,000円、¥240,000）を含む。

※工賃支給対象者に、年度途中入所者、及び退所者、入院中の利用者も含む。

5. 生活支援

(1) クラブ活動

クラブ名	講師	参加人員	備考
卓球クラブ	木村由美子、小林利到子	7名	毎月1回実施
音楽クラブ	永吉 真弓	7名	毎月1回実施
アートクラブ	職員	11名+17名	毎月1回実施
ダンスクラブ	ヒロタップダンスシティ	8名	毎月1回実施
アクティブクラブ	職員	6名	毎月1回実施
パラスポーツクラブ	職員	7名	毎月1回実施

- ・利用者の希望を取り入れて、楽しく活動した。わかふじスポーツ大会へ卓球クラブ（平成30年8月）、パラスポーツクラブ（平成30年9月）が参加。アートクラブは愛護ギャラリー展に出展（平成30年12月）。

(2) 茶話会

毎月1回（毎月第4金曜日）に、工賃分配及び誕生会、話し合い、レクリエーション等を行った。

利用者の親睦及び利用者の意見交換の場として大切に位置づけてきた。その月の誕生者には、今年度は写真たて（ご本人の写真入り）をプレゼントし、全員でお祝いをした。

秋の旅行については、話し合いで目的地等の希望が出され、全員での「富士山の自然と遊ぶ『ぐりんぱ』」へ日帰り旅行を行った。

(3) 社会活動

利用者が楽しく豊かな日中活動を送ることができるよう、次のような地域社会活動に積極的に参加した。

〈年間行事及び地域社会活動〉

実施日	行事名
平成30年	
4月 1日	新年度業務開始
5月 5日	百里園凧揚げ会による練り慰問
5月 7日	健康診断（胸部x-p、血液検査 他）
5月 19日	浜松染め織りマーケットにて授産製品販売
5月 27日	知久農業体験教室共催事業（第1回 綿種まき 他）
6月 4日	家族会総会
7月 16日	知久農業体験教室共催事業（第2回 綿畑除草 他）
7月 29日	浜松ロータリークラブによる奉仕作業（ブルーベリー園の除草・収穫） ※台風の影響により中止
8月 3日 ～ 5日	四季彩堂（有玉本店）にて『もうひとつの秀逸展 25 th in 四季彩堂』を 開催
8月 26日	わかふじスポーツ大会参加（卓球クラブ）
9月 1日	わかふじスポーツ大会参加（パラスポーツクラブ）
9月 14日	社会体験旅行 【日帰り：富士山の自然と遊ぶ「ぐりんぱ」】
10月 17日	静岡県授産製品コンクールに出品 （赤ちゃん用藍染めスタイ(よだれかみ)がオールしずおかベストコミュニティ理事長賞受賞）
10月 21日	百里園町民運動会参加
10月 28日	みどりのフェスティバルにて授産製品販売
11月 3日	聖灯祭（聖隷クリストファー大学）にて授産製品販売
11月 4日	知久農業体験教室共催事業（第3回 綿つみ、収穫祭 他）
11月 11日	障害者週間啓発イベント（浜松市ギャラリーモル ソラモ）にて授産製品販売
11月 23日	浜北特別支援学校けやき祭にて授産製品販売
11月 29日	歯科検診
㊦ 12月 1日	3事業所合同「第1回パラスポーツ大会」開催（㊦浜松市立北小学校体育館）
12月 9日	知久農業体験教室共催事業（第4回 糸つむぎ、機織り体験 他）
12月 13日 ～ 17日	愛護ギャラリー展（静岡県コンベンションセンター グラソップ）にて出展
12月 17日 ～28日	絵画クラブ作品をギャラリーポテト（浜松信用金庫三方原支店内）にて展示
平成31年	
1月 11日	『新成人を励ますつどい』実施
2月 22日	新入所者オリエンテーション
3月 13日	『感謝のつどい』実施
3月 25日	平成31年度入所式
3月 26日	浜松ロータリークラブ例会にて法人紹介と授産製品販売

※毎月第3日曜日に伯明デイサービス「のきした市」にて授産製品を販売

6. 災害防止対策

学園内の事故防止、通園途中の交通事故防止についての指導をその都度実施した。

また火災、地震を想定した防災訓練を3ヶ月に1回実施し、合わせて防災設備の自主点検を行った。

実施日	訓練種目	参加者	発生時刻	内 容
平成30年 5/24 (木)	地震・避難	利用者 53人 職員 14人 67人	11時00分	午前中、作業やクラブ活動を施設内・外、複数の場所で行っていることを想定し、限られた職員で利用者の迅速な安全確認と誘導を行った。施設外で活動中のダンスクラブからは、担当職員から電話にて報告を受けた。

実施日	訓練種目	参加者	発生時刻	内 容
7/20 (金)	火災避難・ 通報	利用者 57人 職員 13人 70人	11時00分	午前作業中に厨房より火災発生。全体放送、伝令で各作業所に確実に火災発生を伝え、速やかな誘導を行う。初期消火担当職員は、消火器の使用手順を確認した。 また、消防署への通報訓練も行った。
8/29 (水)	地震・情報伝達 訓練	職員 1人 1人	8時30分	突発的な地震の発生を想定して、施設の被害状況について、浜松市社会福祉課に被害状況報告書をFAXにて送付する。
11/15 (木)	火災避難 (スモーク体験・消火器訓練)	利用者 61人 職員 16人 77人	10時30分	午前作業中、西隣民家より出火を想定。一次避難所へ避難後、浜松市消防局指導のもと、スモーク体験、消火器体験を行う。スモーク体験には、多くの利用者が参加できた。
平成31年 3/12 (火)	地震・避難	利用者 61人 職員 18人 79人	12時50分	昼休み、利用者が複数の場所に点在していることを想定し、伝達を正確に行い、迅速な安全確認と誘導を行った。

7. 地域公益事業

(1) 生活困窮者就労訓練事業の実態

受け入れはなかったが、引き続き自立相談支援機関(生活自立相談支援センター「つながり」)と連携して受入れ準備をしてきた。

8. 福祉施設実習及び産業現場等における実習

福祉施設実習の受入れは2校、産業現場等における実習の受入れは3校であった。

月	来客者数		見学者数		実習者数		ボランティア数		備考
	平成30年度	平成29年度	平成30年度	平成29年度	平成30年度	平成29年度	平成30年度	平成29年度	
4	2		3		2	1	11	14	
5		3	1	3		4	12	7	
6			1		6	4	11	10	
7	4	3		2	3	4	11	10	
8	5	5	12	5		2	5	8	
9	2				3	5	12	8	
10		2	8		1	3	12	7	
11	2		6	9	3	3	11	10	
12					2	3	11	10	
1			4		2	4	8	6	
2			1		5	3	12	6	
3	2		3	10	2	1	12	7	
計	15	13	36	29	27	37	128	104	

Ⅲ み な み (就労継続支援B型事業所)

1. 施設運営

- ・事業所が日々明るく楽しい生活の場でなくてはならないという観点を重視し個別支援計画に基づいて本人の希望や家族の思いが充分反映されるよう一人一人にきめ細やかな支援を心がけて活動を行なった。
- ・作業を通じて労働集団の豊かな形成につとめると共に働く場との意識向上につとめた。また、療育的な支援や余暇活動の充実等、総合的な支援を行なった。

2. 施設利用状況 (定員20名)

項 目		単位	平成30年度 実績	平成29年度 実績	平成28年度 実績
施設利用状況	開所日数	日	256	254	268
	契約者数	人	24(H31.3退所1名)	22	22
	延べ人数	人	5,210	5,237	5,158
	1日平均		20.4	20.6	19.2
	利用率	%	101.8	103.1	96.2

・利用者の状況 (平成31年3月31日現在)

地域別	浜 松 市							磐田市	掛川市	湖西市	合 計			
	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区				性別	男	女	
年 齢 別	18歳 ～19歳	20歳 ～29歳	30歳 ～39歳	40歳 ～49歳	50歳 ～59歳	60歳 ～64歳	65歳 以上	性別	男	女	23			
障害支援 区 分 別	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1	平均支援区分		未判定					
手帳所持別	身体障害者手帳				療育手帳		精神障害者保健福祉手帳			重複所持			手帳なし	
	1級	2級	3級	4級	5級以上	A	B	1級	2級	3級				
	2	2	0	0	1	19	4	0	0	0			5	0

3. 就労支援事業：全体

(単位：円)

事 業	平成30年度収入	平成29年度収入	差 額
自主作業	1,031,704	1,057,248	△25,544
下請作業	1,692,787	1,740,905	△48,118
合 計	2,724,491	2,798,153	△73,662

①自主作業

(単位：円)

作業種目	平成30年度収入	平成29年度収入	差 額
果 樹 園 芸	410,996	449,961	△38,965
染 織 縫 製	620,708	607,287	13,421
合 計	1,031,704	1,057,248	△25,544

②受託作業

(単位：円)

作業種目	平成30年度収入	平成29年度収入	差 額
農 場 整 備			
清 掃 作 業	1,692,787	1,740,905	△48,118
下 請 作 業			
合 計	1,692,787	1,740,905	△48,118

4. 工賃実績：全体

(単位：円)

	平成30年度	平成29年度	差 額
平均	8,090	8,474	△384
最高	14,763	14,418	345
最低	2,867	2,567	300

(単位：円)

工 賃	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年度
総支給額	199,750	159,800	133,750	133,780	193,740	209,760	184,760	189,730	218,750	139,750	189,750	214,780	2,168,100	2,288,060
月額最高額	15,490	12,390	10,740	10,140	15,450	18,680	16,190	15,750	14,600	12,670	17,600	17,450	14,763	14,418
月額最低額	4,350	1,830	2,830	2,150	3,800	1,000	3,660	3,720	6,100	1,000	1,000	2,960	2,867	2,567
											平均工賃月額		8,090	8,474

※平成30年12月の総支給額は賞与（一律3,000円、¥69,000）を含む。

※工賃支給対象者に、年度途中入所者、及び退所者、入院中の利用者も含む。

5. 生活支援

(1) クラブ活動

利用者の希望を取り入れて、絵画・音楽・書道・手工芸・マラソン等のクラブ活動を実施した。

(2) 茶話会

毎月1回茶話会を行い、工賃分配及び誕生会、話し合い、レクリエーション等を行った。利用者の親睦及び意見交換の場として大切に位置づけ、その月の誕生者にはプレゼントを渡し、また皆勤者にはその努力をたたえた。

(3) 社会活動

利用者が楽しく豊かな日常生活を送ることができるように、次のような地域社会の活動等に積極的にとりくんだ。

〈年間行事及び地域社会活動〉

実施日	行 事 名
平成30年	
4月 1日	新年度業務開始
4月 22日	アースデイはままつにて製品販売
4月 25日	健康診断（胸部 x-p、血液検査）
5月 16日	家族会・三事業所合同「綿の種まき」 遠江学園理事会
5月 19日	はままつ染め織りマーケットにて製品販売
5月 27日	知久農業体験教室共催事業（第1回 綿花の種まき 他）
6月 4日	家族会総会
6月 17日	「すきです新津」ふれあいフェスタにて製品販売。パネル展示。
6月 23日	南高波濤祭パネル・絵画展示
7月 16日	知久農業体験教室共催事業（第2回）
7月 18日	みなみ移転新築工事入札
8月 3日 ～ 5日	四季彩堂（有玉本店）にて『もうひとつの秀逸展 25 th in 四季彩堂』を開催
8月 27日	みなみ地鎮祭
9月 1日	きらりナイトにて製品販売
9月 14日	社会体験旅行 【日帰り：竹島水族館・蒲郡クラシックホテル】
10月 27日	見付宿たのしい文化展にて製品販売（～28日）
11月 1日	静岡県知的障害者福祉協会生産活動・就労支援部会研修会参加（～2日）
11月 4日	きらら浜松にて製品販売
〃	知久農業体験教室共催事業（第3回 綿つみ、収穫祭 他）
11月 10日	浜松こども園運動会参加
11月 11日	スマイルフェスタに参加
11月 14日	陽だまりの里 足立柿園に遠足
11月 17日	南区ふれあい交流会に参加
㊦ 12月 1日	3事業所合同「第1回パラスポーツ大会」開催（旧浜松市立北小学校体育館）
12月 7日	歯科健診
12月 9日	知久農業体験教室共催事業（第4回 糸つむぎ、機織り体験 他）
12月 13日 ～17日	愛護ギャラリー展（静岡県コンベンションセンター グラシップ）にて出展 工芸部門にて静岡県福祉協会会長賞銅賞・奨励賞を受賞
平成31年	
1月 11日	新成人を励ますつどい実施
1月 19日	新津中学校 PTA バザーにて授産製品販売
2月 22日	新入所者オリエンテーション
3月 16日	みなみ内覧会
3月 22日	みなみ落成式
3月 25日	平成31年度入所式・小遠足（新みなみにて）

6. 災害防止対策

実施日	訓練種目	参加者	発生時刻	内 容
平成30年 4/ 6 (金)	不審者 防犯訓練	利用者 20名 職員 4名 24名	10時00分	みなみの南側入り口から不審者が侵入するという想定で行った。防護できるものを用意しアルファに移動し避難した。
6/ 20 (水)	地震・ 津波避難訓練	利用者 20名 職員 6名 26名	10時50分	グラウンド歩行中、遠州灘沖で震度7の地震が発生したと想定する。職員による安否確認後、ライフジャケットを装着して避難タワーまで避難及び誘導する。乾パンを試食する。
8/ 31 (木)	地震・情報伝 達訓練	職員 1名	8時30分	突発的な地震の発生を想定。施設の被害状況について、浜松市社会福祉課に被害状況報告書を FAX にて送付する。

実施日	訓練種目	参加者	発生時刻	内 容
10/1 (水)	水災害による 避難訓練	利用者 19名 職員 5名 24名	15時00分	大雨警報、洪水警報発令。大雨により冠水、浸水が徐々に進んでいる状態を想定。安全を確保する為、全員で2階へ上がった。台風が来た為、安全な道路を確認し送迎を行う。
10/31 (水)	地震・津波 火災 避難訓練	利用者 19名 職員 5名 24名	10時50分	午前の作業中の地震を想定。ライフジャケットとヘルメットを着用して避難タワーまで移動した。こども園の湯沸室から火災が発生(想定)。安全に避難し、職員と利用者と共にバケツを使い消火活動する。
平成31年 3/7 (水)	不審者 防犯訓練	利用者 21名 職員 5名 26名	10時00分	みなみの南側入り口に不審者がいる事を確認し侵入するという想定で行った。支援者が椅子を使い不審者を確保する練習をした。

7. 地域公益事業

(1) 生活困窮者就労訓練事業の実態

自立支援機関(生活自立相談支援センター「つながり」)の斡旋に応じて、就労に困難を抱える生活困窮者の受け入れを継続している。

8. 福祉施設実習及び産業現場等における実習

職場体験実習の受け入れは4校であった。

月	来客者数		見学者数		実習者数		ボランティア数		備考
	平成30年度	平成29年度	平成30年度	平成29年度	平成30年度	平成29年度	平成30年度	平成29年度	
4		2	9				4	2	
5	4		11	2	1		1	9	
6	4		2		2	10	2	2	
7	2			10	1		1	2	
8			4		1		3	2	
9	2	2	3	1	1		5	2	
10	1	1			2	2	6	14	
11	4					10	3	6	
12				1	1	1	3	2	
1	4	2					5	2	
2	4	2					3	5	
3	2	1	※150				7	5	※内覧会・落成式含む
計	27	10	179	14	9	34	43	53	

IV まつかさ（就労継続支援B型事業所）

1. 施設運営

まつかさは、就労継続支援事業B型事業として、「働く」という視点を重視し、就労の機会を提供することを心がけてきた。「施設外就労」が定着し、多くの利用者さんが、施設外での作業を経験することになり、働く力の向上につながった。

また、本人の希望や家族の思いが十分反映されるよう、面談を随時実施し、きめ細かな支援を心がけてきた。気持ちが安定していない方や様々な事情で事業所に来られない方に対しては、家庭訪問や通院等の支援も行った。

2. 施設利用状況（定員20名）

項 目		単位	平成30年度 実績	平成29年度 実績	平成28年度 実績
施設利用状況	開所日数	日	256	254	268
	契約者数	人	22	21	21
	延べ人数	人	5,028	4,671	5,194
	1日平均		19.6	18.4	19.4
	利用率	%	98.2	91.9	96.9

・利用者の状況（平成31年3月31日現在）

地域別	浜 松 市							磐田市	掛川市	湖西市	合 計	
	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区				22	
年 齢 別	18歳 ～19歳	20歳 ～29歳	30歳 ～39歳	40歳 ～49歳	50歳 ～59歳	60歳 ～64歳	65歳 以上	性別	男	女	22	
	1	10	7	2	1	0	1		16	6		
障害支援 区 分 別	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1	平均支援区分	未判定			22	
	0	0	2	8	5	0	3.0	7				
手帳所持別	身体障害者手帳					療育手帳		精神障害者保健福祉手帳			重複 所持	手帳 なし
	1級	2級	3級	4級	5級以上	A	B	1級	2級	3級		
	0	0	0	0	0	12	10	0	1	0	1	0

3. 就労支援事業：全体

（単位：円）

事 業	平成30年度収入	平成29年度収入	差 額
自主作業	285,137	332,410	△47,273
受託作業	2,808,580	3,047,846	△239,266
合 計	3,093,717	3,380,256	△286,539

①自主作業

（単位：円）

作業種目	平成30年度収入	平成29年度収入	差 額
果樹園芸	0	13,840	△13,840
織染縫製	285,137	318,570	△33,433
合 計	285,137	332,410	△47,273

②受託作業

(単位：円)

作業種目	平成30年度収入	平成29年度収入	差 額
農 場 整 備			
清 掃 作 業	2,808,580	3,047,846	△239,266
下 請 作 業			
合 計	2,808,580	3,047,846	△239,266

4. 工賃実績：全体

(単位：円)

	平成30年度	平成29年度	差 額
平均	10,542	12,660	△2,118
最高	17,093	20,259	△3,166
最低	2,733	2,516	217

(単位：円)

工 賃	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年度
総支給額	239,870	229,820	239,810	249,750	259,740	265,290	265,760	266,820	384,830	259,760	239,830	321,960	3,203,150	3,203,150
月額最高額	18,610	16,740	14,070	15,450	16,710	16,390	16,110	16,460	25,110	19,370	18,050	23,740	20,259	20,259
月額最低額	2,590	1,900	1,840	2,650	1,000	1,190	2,070	3,010	7,200	2,600	2,740	4,000	32,790	2,516
	平均工賃月額												10,510	11,467

※本年度より平成30年12月は賞与（一律5,000円、¥110,000）、平成31年3月は年度末手当（一律3,000円、¥66,000）を含む。

※工賃支給対象者に、年度途中入所者、及び退所者、入院中の利用者も含む。

5. 生活支援

(1) 茶話会

毎月1回、月末に工賃分配と誕生者にはプレゼントを渡しお祝いをした。

(2) 社会活動

利用者が楽しく豊かに日々を送ることができるように、次のような地域社会の活動等に積極的に取り組んだ。

〈年間行事及び地域社会活動〉

実施日	行事名
平成 30 年	
4 月 2 日	新年度業務開始
4 月 24 日	歯科健診
4 月 25 日	健康診断（胸部 x-p、血液検査、尿検査）
5 月 16 日	家族会・3 事業所合同「綿の種まき」
5 月 27 日	知久農業体験教室共催事業（第 1 回 綿花・サツマイモの苗植え 他）
6 月 4 日	家族会総会
7 月 16 日	知久農業体験教室共催事業（第 2 回 大豆の種まき 他）
8 月 3 日 ～ 5 日	四季彩堂（有玉本店）にて『もうひとつの秀逸展 25 th in 四季彩堂』を開催
9 月 14 日	社会体験旅行 【日帰り：三津シーパラダイスと大型展望水門びゅうお】
10 月 14 日	労福協まつりにて授産製品販売
11 月 3 日	聖灯祭（聖隷クリストファー大学）にて製品販売
11 月 4 日	知久農業体験教室共催事業（第 3 回 綿つみ、サツマイモ・枝豆収穫 他）
㊦ 12 月 1 日	3 事業所合同「第 1 回パラスポーツ大会」開催（@浜松市立北小学校体育館）
12 月 9 日	知久農業体験教室共催事業（第 4 回 綿くり、糸つむぎ体験 他）
平成 31 年	
1 月 11 日	『新成人を励ますつどい』実施
2 月 22 日	新入所者オリエンテーション（まつかさは該当者無し）
3 月 25 日	平成31年度入所式（まつかさは該当者無し）
3 月 26 日	保護者懇談会

6. 災害防止対策

実施日	訓練種目	参加者	発生時刻	内 容
平成 30 年 4/7 (土)	火災 避難・消火	利用者 17 名 職員 4 名 21 名	10 時 55 分	和室のエアコンから出火を想定。火災報知器の「ヒューヒュー、火事です。火事です」の音声を使い、火災発見の訓練。利用者を安全に誘導し、安全を確認してから消火活動に入った。
8/18 (木)	防災訓練 地震 避難訓練	利用者 16 名 職員 4 名 20 名	9 時 25 分	9:25 に地震発生。「地震です。身をかがめて安全を確保してください。頭を机の下に隠してください。」と声を掛けて訓練を開始した。今回は 2 次避難地となっている元北小学校までの避難を行い、避難経路と途中の建物や塀、看板などの危険な箇所の確認をした。
8/29 (水)	地震 被災状況 報告訓練	利用者 22 名 職員 5 名 25 名	9 時 10 分	突発的な地震の発生を想定して、施設の被害状況について浜松市中区社会福祉課に被災状況報告書を FAX にて送付した。
9/ 2 (日)	地元 4 町合同 防災訓練に参加	施設長 1 名	8 時 00 分	4 年に一度の 4 町合同防災訓練に施設長が参加。救護訓練、AED 取扱訓練、煙体験、消火訓練等に参加。2 次避難所に設定されている元北小学校が訓練場所であった。

平成 30 年 11/9 (金)	防災訓練 地震・火災 ・避難	利用者 10 名 職員 3 名 13 名	9 時 30 分	9:30 に緊急地震速報を事業所内で流し、地震の発生を知らせた。15 秒後「地震です。身をかがめて安全の確保をしてください」と声掛けで訓練を開始した。和室のエアコン付近からの出火を認め初期消火に当たる。今回は、第 1 次避難場所になっている事業所東の駐車スペースへの避難にとどめた。
平成 31 年 3/23 (土)	地震・火災 ・避難	利用者 16 名 職員 4 名 20 名	11 時 12 分	11:12 に地震発生。その前に緊急地震速報を流し注意を促した。「地震です。身をかがめて、頭を守ってください」と声掛けをして訓練を開始した。今回は地震の影響で 2 階作業場からの火災発生を想定し、消火担当の職員 2 名が実際に移動して訓練した。

7. 福祉施設実習及び産業現場等における実習

実習の受入れは 4 校であった。

月	来客者数		見学者数		実習者数		ボランティア数		備考
	平成30年度	平成29年度	平成30年度	平成29年度	平成30年度	平成29年度	平成30年度	平成29年度	
4	11	1	0	2	0	0	0	0	
5	8	8	4	4	0	0	0	0	
6	17	1	3	6	8	5	0	0	
7	11	0	2	1	2	0	0	0	
8	15	12	4	7	3	7	0	0	
9	6	0	2	0	0	9	0	0	
10	10	5	4	0	5	18	0	0	
11	8	0	2	0	0	0	0	0	
12	8	10	0	0	0	0	0	0	
1	10	13	3	0	2	0	0	0	
2	9	8	1	0	0	4	0	0	
3	4	24	2	5	0	0	0	0	
計	117	82	27	25	20	43	0	0	

V やしま (共同生活援助：グループホーム)

1. 施設運営

- ・個別支援計画に基づいて利用者一人一人の希望や思いに寄り添い、心身共に安定した日々の生活の充実を図った。
- ・地域の一員として奉仕活動・防災訓練等、各種活動に参加し社会的マナーやルールを身につけ、自立した生活に向けて総合的な支援を行なった。

2. 施設利用状況 (定員4名)

項 目	単位	平成30年度 実績	平成29年度 実績	平成28年度 実績
施設利用状況	開所日数	日	365	365
	契約者数	人	4	4
	延べ人数	人	1,384	1,435
	1日平均		3.8	3.9
	利用率	%	94.8	98.3

・利用者の状況 (平成31年3月31日現在)

地域別	浜 松 市							磐田市	掛川市	湖西市	合 計	
	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区				性別	男
	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0		
年齢別	18歳 ～19歳	20歳 ～29歳	30歳 ～39歳	40歳 ～49歳	50歳 ～59歳	60歳 ～64歳	65歳 以上	性別	男	女		
			2	2	0	0	0				4	0
障害支援 区分別	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1	平均支援区分	未判定				
	0	0	2	2	0	0	3.5	0				
手帳所持別	身体障害者手帳					療育手帳		精神障害者保健福祉手帳			重複 所持	手帳 なし
	1級	2級	3級	4級	5級以上	A	B	1級	2級	3級		
	0	0	0	0	1	2	2	0	0	0	1	0

3. 支援内容

(1) 日常生活動作支援

食事、排泄、入浴、洗濯、清掃、身だしなみを整える等、手際の良い身辺処理ができるよう支援した。

(2) 余暇活動の支援

休日には生花・レストランの日・コンサート鑑賞・買い物・温泉の日・外出支援等、ご本人の希望に添って余暇時間の充実を図った。また、地域で開催される各種活動(市・地区社協イベント・農業体験教室等)にも参加した。

《やしま余暇支援活動》

活動名	実施回数	活動内容
レストランの日	5回	市内のレストランにて外食
生け花	2回	自室に季節の花を飾る
コンサート鑑賞	2回	センター合唱団・合唱団美樹鑑賞
料理	3回	ホットケーキ・焼肉・やきそばをつくって食べて楽しむ
温泉の日	8回	市内の入浴施設を利用する
清掃奉仕	4回	地域除草作業に参加する
交流活動、買い物支援、小旅行	月1～2回	卸本町夏祭り、蒲神明宮祭り・南区ふれあい交流会、防潮林除草奉仕活動、農業体験教室等、地域交流活動に参加する。随時買い物や小旅行を楽しむ。

(3) 健康管理

内科・外科・歯科への通院の支援を行った。また、定期的に歯みがき支援や服薬管理を行った。

帰宅後のお茶のうがいや手洗いの徹底、インフルエンザその他の予防を行った。

(4) 菜園管理

野菜の栽培や収穫を体験し、料理に活用する等して菜園での活動を楽しんだ。

4. 災害防止対策

実施日	訓練種目	参加者	発生時刻	内容
30年 5/11 (金)	火災・避難	利用者 4名 職員 2名 6名	19時00分	夕食後に、台所からの出火を想定する。それぞれの居室南出入口からスリッパのまま、みなみへ向かって避難した。ハンカチ(タオル)で手近なもので口をおさえ低い姿勢での避難の徹底ができた。
7/19 (水)	水災害 避難	利用者 4名 職員 2名 6名	8時00分	大雨警報・洪水警報発令。大雨によりやしま周りが灌水し浸水が進んでいることを想定。支援者と共に、大雨を想定し長靴、雨合羽、ヘルメット、軍手を装着し、備蓄してある水、乾パンを持ち、「みなみ」へ移動し、2階へ避難する。テレビ、ラジオ等で情報を収集する。
9/2 (日)	地域防災 訓練	利用者 4名 職員 1名 5名 地域住民、消防関係者 150人	6時20分	火災及び、放水活動中に、地震発生を想定。地域住民の一部が、ASTI屋上に避難。消火活動終了後に炊き出しの実施。地域住民の方と共に、バケツリレーでの消火活動を行なった。訓練の合間に、地域住民の方に声もかけていただいた。

実施日	訓練種目	参加者	発生時刻	内 容
12/4 (火)	防犯訓練	利用者 4名 職員 3名 7名	17時30分	玄関に不審者がうろついていることを想定する。屋外の人物をあまり刺激しないよう静かに行動することを促す。支援者が集合し、外部からの侵入を想定しバリケードをつくった。模擬で、110番通報をする。
31年 3/10 (日)	避難訓練 防潮堤整備	利用者 2名 職員 1名 3名 地域住民 60名	9時00分	9:00の合図と共に、スムーズに玄関先へ行く。住民の皆さんと避難タワーに向かった。避難タワーまで3分位で避難ができた。

火災・地震津波対策に加えて大雨による水害、防犯対策等、防災規程年4回の規定に追加して、随時避難場所や避難経路の確認やライフジャケット着用訓練・防災環境の確認を行った。特に地域での防災訓練には欠かさず参加し、地域住民や消防署員、及び警察関係者にグループホームの実態についても確認してもらうことが出来た。

5. その他

- ①個別支援計画について、本人との面談を随時行う。また、隔月に支援会議を行う。
- ②世話人、生活支援員、利用者4名と共にテーマを設けて、座談会方式でミニ講座を適宜開催した。
- ③虐待防止についてチェックリストを活用した。

VI あかね（共同生活援助：グループホーム、短期入所：ショートステイ）

1. 施設運営

・共同生活援助事業

知的な障害者に対して「住まいの場」を提供し、自立に向けた必要な技能や地域の中で生活していく為のルール等、総合的支援を行った。

また、利用者さんの思いによりそい、より個別化した支援が行えるよう努力した。相談支援事業所とも密接な連携を取りながら、利用者の意思決定を大切に生活の充実を図った。

・短期入所事業

家庭のレスパイト支援を優先し、自宅での生活が一時困難になった利用者が快適に過ごせるよう、食事の提供、入浴支援等を行った。また共同生活援助事業の利用者と気持ちよく過ごせるようコミュニケーションの疎通を図り、滞在する利用者一人ひとりの要望に沿った支援を行った。

2. 施設利用状況

(1) 共同生活援助（定員7名）

項 目		単位	平成30年度 実績	平成29年度 実績	平成28年度 実績
施設利用状況	開所日数	日	365	365	365
	契約者数	人	7(H31.3~)	6	7
	延べ人数	人	2,100	2,251	2,325
	1日平均		5.75	6.2	6.4
	利用率	%	82.1	88.1	91.0

・利用者の状況（平成31年3月31日現在）

地域別	浜 松 市							磐田市	掛川市	湖西市	合 計	
	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区					
	1	1	1	0	3	0	1	0	0	0	7	
年齢別	18歳 ~19歳	20歳 ~29歳	30歳 ~39歳	40歳 ~49歳	50歳 ~59歳	60歳 ~64歳	65歳 以上	性別	男	女		
	0	1	2	2	0	2	0		0	7		
障害支援 区分別	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1	平均支援区分	未判定				
手帳所持別	身体障害者手帳					療育手帳		精神障害者保健福祉手帳			重複 所持	手帳 なし
	1級	2級	3級	4級	5級以上	A	B	1級	2級	3級		
	0	0	0	0	0	5	2	0	0	1		

(2) 短期入所（定員1名）

項 目		単位	平成29年度 実績	平成29年度 実績	平成28年度 実績
施設利用状況	開所日数	日	365	365	365
	延べ利用者数	人	509	507	463
	稼働日数	人	287	283	237
	利用率	%	78.6	77.5	64.9

・利用者の状況 (平成31年3月31日現在)

地域別	浜 松 市							磐田市	掛川市	湖西市	合 計	
	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区				利用実人員	
	10	6	9	9	3	0	0	0	0	1	38	
年齢別	18歳 ～19歳	20歳 ～29歳	30歳 ～39歳	40歳 ～49歳	50歳 ～59歳	60歳 ～64歳	65歳 以上	性別	男	女		
	1	13	10	9	1	4	0		24	14		
障害支援 区分別	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1	平均支援区分	未判定				
	3	6	13	10	6	0	3.7	0				
手帳所持別	身体障害者手帳					療育手帳		精神障害者保健福祉手帳			重複 所持	手帳 なし
	1級	2級	3級	4級	5級以下	A	B	1級	2級	3級		
	2	1	0	0	0	31	7				3	

3. 支援内容

(1) 日常生活動作支援

食事、排泄、入浴、洗濯、清掃、身だしなみを整える等、手際のよい身辺処理ができるよう支援した。また、夜間の不眠者に対し、医療面の対応と同時に本人の気持ちに寄り添う支援を行った。

(2) 余暇活動の支援

休日には、市内の公園・美術館等の散策、買い物支援等行い、余暇時間の充実を図った。またレストランの日を設け、外出の際のマナーやルールについて支援した。地域で開催される各種活動にも積極的に参加し、月に一度行われる販売会では、販売を担当した。

〈あかね支援活動〉

活 動 名	実施回数	活 動 内 容
レストランの日	5回	市内のレストランにて外食
市内散策	9回	浜名湖ガーデンパーク、秋野不矩美術館、浜松城公園、気賀関所等散策。図書館利用、姫様道中見学
年中行事	11回	入所利用者の誕生祝い、クリスマス会 他
地域の行事参加	2回	百園自治会夏祭り、社会福祉法人和光会夏祭り等
販売会见学	1回	四季彩堂販売会见学
販売会担当	月1～2回	毎月第3日曜日、伯明デイサービス「のきした市」にて授産製品を販売 他
移動支援	45回	移動支援サービスを利用し、外出する(1名)
買い物支援	月1～2回	随時買い物に同行する
料理	8回	焼きそば、お好み焼やサラダ、流しそうめん、デザート作り等、食べて楽しむ
散歩・園芸	毎週末	近隣の散歩、プランターへの灌水、生け花

共同生活をする仲間として、お互いを思いやる気持ちを大事にし、仲間意識を持てるようお互いが役割を持って参加し楽しめるよう支援を行った。

(3) 健康管理

内科・歯科・皮膚科・神経科への通院の支援を行った。また定期的に歯みがき支援や治療のための支援を行った。

帰宅後のお茶のうがいや手洗いの徹底をはかり、インフルエンザ等の予防を行った。また、加湿空気清浄機を設置し、環境を整えた。

4. 災害防災対策

避難訓練を行った。

実施日	訓練種目	参加者	発生時刻	内 容
平成 30 年 7/31 (火)	火災・避難	利用者 6名 職員 3名 9名	19時00分	あかね会の後、お風呂場より出火を想定。煙を吸い込まないようにハンカチで口を覆い、上靴のまま、食堂出入口より駐車場北西に避難。その後、消火器を持ち寄り、消火器点検を行う。また、火災防止について確認を行った。
9/2 (日)	地震	利用者 4+1名 職員 8名 13名	10時10分	地震発生の場合合図を行い、テーブル下やトイレに避難を呼びかける。揺れがおさまってから駐車場に一時避難し、その後、避難場所「ひくまの」に歩いて避難。職員間の情報伝達訓練を行った。
12/2 (日)	地域防災訓練	利用者 5+1名 職員 2名 8名	8時58分	地震発生を想定。テーブルの下等に隠れ、揺れがおさまってから、ヘルメット着用し、「百園会館」へ避難。その後、地域防災訓練に参加。心肺蘇生訓練を見学、消火訓練に参加した。
平成 31 年 3/8 (金)	火災・通報	利用者 5+1名 職員 3名 9名	17時00分	台所より出火を想定し、消防署への通報訓練を行った。
3/9 (土)	火災・避難	利用者 6名 職員 2名 8名	14時33分	午後の休憩時間中、台所より出火を想定。上靴のまま、101号室窓より建物東側を通過し、駐車場に避難。1名が避難に少し遅れたが、支援し、無事全員の避難を完了する。

6. その他

平成30年2月より、入所者6名の状態が続いていたが、平成31年3月1名入所し、利用定員不足が解消された。